

第2学年 英語科 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的(教科の目標)

- (1) はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができるようになる。
- (2) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。
- (3) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- (5) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。

2. 学習計画

学期	単元タイトル (題材)	学習のねらい
1	Unit 0 My Spring Vacation	●クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。
	Unit 1 What can we experience on a trip?	●留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。
	Real Life English 1	●機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	Grammar for Communication 1	●5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。
	Unit 2 What is local food?	●ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
	Unit 3 What kind of job are you interested in?	●将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書くことができる。
	Grammar for Communication 3	●不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food	●自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話す。
	Let's Read 1 History of Clocks	●文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉える。

<p>2</p>	<p>Unit 4 What is important in a homestay?</p> <p>Grammar for Communication 4</p> <p>Unit 5 What design is good for everyone?</p> <p>Unit 6 How can we make a good presentation?</p> <p>Grammar for Communication 5</p> <p>Stage Activity 2 My School and School Life</p> <p>Let's Read 2 A Glass of Milk</p>	<p>●ホームステイについて、する必要があることやないことを、理解したり伝えたりすることができる。</p> <p>●助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</p> <p>●だれもが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちなどを読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりすることができる。</p> <p>●聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p> <p>●比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</p> <p>●自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明できる。</p> <p>●物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。</p>
<p>3</p>	<p>Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?</p> <p>Real Life English 7</p> <p>Grammar for Communication 6</p> <p>Stage Activity 3 Let's Have a Discussion</p> <p>Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet</p>	<p>●世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり説明したりすることができる。</p> <p>●買い物でほしいものを探さることができるように、自分の好みや要望を伝えることができる。</p> <p>●受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</p> <p>●自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。</p> <p>●人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。</p> <p>●文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えることができる。</p>

3. 評価

観 点	評 価 の 内 容	評 価 の 方 法
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解する力、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする技能を評価します。	定期テスト・単元テスト・ワークシート・パフォーマンステスト・ハッピーテストなどで評価します。
思考・判断・表現	事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする力、必要な情報や概要、要点をとらえる力を評価します。	定期テスト・単元テスト・パフォーマンステストなどで評価します。
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く英語に取り組む姿勢と、自己分析して学習を調整しようとしている姿勢を評価します。	定期テスト・単元テスト、ポイントカード、ノートやワーク、授業の振り返り、観察法などで評価します。

上記に示した3つの観点から総合的に評価し、成績とする。

4. 学力向上のためのアドバイス

まずは授業に真剣に取り組むことです。先生の話をごまめにメモしたり、板書をもれなくノートに写したりすることは、学力を付けるための基本です。また、大きな声で音読や会話練習をしたり、先生や友達の英語を集中して聞いたりすることもとても大切です。

言語を習得するにはListening（聞くこと）、Speaking（話すこと）、Reading（読むこと）、Writing（書くこと）という4つのスキル(技能)が必要です。

多聴(extensive listening)と多読(extensive reading)という英語の勉強法を知っていますか。

英語力を伸ばすためにはたくさん英語を読んだり、英語を聞いたりして「英語に慣れる」ことが重要です。英語力アップのために以下のことを大切にしてください。

- ① 発音 ②教科書の音読 ③語彙を増やす ④量をこなす ⑤楽しんでやる

そのためには・・・

「毎日聞く」英語の歌を聞く、教科書本文のCDを聞く、テレビ・ラジオを視聴する（NHK講座など）

「毎日話す」友人や英語の先生、LATの先生と授業で学んだ会話表現を使って話してみる等。

「毎日読む」教科書や英語の本を読む。長い本は黙読でも可。短い文章は声に出して読む等。

「毎日書く」ノートに教科書の本文や日記（最初は1～5文で可。）を書く等。

これらのことを授業や家庭学習の中で実践してみてください。

皆さんが毎朝アップルタイムのプリントを学習しているのは「毎日書く」を実践していることになります。ワークを用いて反復練習をしたり、予習・復習としてアップルタイムのプリントを活用したり、練習問題は「目」で解かないで、「音」で解く。つまり手と口を動かし、書かれた文字と頭の中にある音を照合することが大切です。自分の取り組むべきことを見つけ、それに真剣に向き合えば、おのずと結果はついてきます。勉強の仕方がわからなければ、いつでも英語の先生に相談してください。